

中山町誕生60周年記念

町のさらなる発展を祈って

町民炎の集い

今年は町誕生60周年と毎年キャンプファイヤーを行っている朝日少年自然の家宿泊研修会が40回目にあたる年。それら記念すべき年に町内で大きな炎を囲みながら、新たな思い出づくりと交流の輪を広げたいとの思いから行われたキャンプファイヤー。みんなの願いが天まで届くよう、「燃えろよ燃えろ」を大きな声で歌いました。



10月4日、町内のボランティア団体「ボランティアあさひ」が企画した『中山町誕生60周年記念 町民炎の集い』が開催されました(『ボランティアあさひ』の詳細は28ページ)。
このイベントは町誕生60周年の節目に、地域や世代を超えた交流から町民の絆を深め、町のさらなる発展を願おうと、町内の個人・団体・企業等からの協賛金や町の「やってみっぺ活動支援補助金」を活用して開催されました。
夕暮れ時になると会場となった最上川緑地公園のテニスコート付近には人々が続々と集結。先着500名への玉こんにやく無料配布やオープニングセレモニーが行われたのち、キャンプファイヤー、「中山」火文字、60発の打ち上げ花火などが夜の町を彩り、参加した人たちは町誕生60周年を祝い、町のさらなる発展を願いました。



「中山」火文字も浮かびあがりました



町誕生60周年記念にちなみ、60発の花火が夜空を彩りました。



オープニングイベントでは中山総合スポーツクラブのヒップホップ、キッズダンス、ビートダンスの各教室の元気いっぱいのダンスが会場を盛り上げました。

やってみっぺ!

この事業は「中山町「やってみっぺ」活動支援補助金」を活用して実施しています。